

◇ 内臓脂肪CT検査（オプション検査）

CT(コンピューター断層撮影法)を用いて内臓脂肪を計測する検査です。腹腔内に存在する脂肪で、主に腸間膜に付きます。お腹がせり出しているりんご型肥満は、この内臓脂肪の蓄積による肥満です。内臓脂肪が過剰に蓄積されると、この脂肪細胞から生活習慣病を進行させる原因物質の分泌が増加されるため、問題とされています。詳しく調べるにはCT検査が有用です。一般的に内臓脂肪が 100cm^2 以上になると内臓脂肪型肥満と言われます。

◇ 睡眠時無呼吸症候群（SAS）簡易検査（オプション検査）

指先にセンサーをつけて寝ている間の酸素の濃度を見ています。昼間に眠くなる方や寝ている間に呼吸が止まっていると言われたことがある方におすすめです。

◇ 喀痰細胞診（オプション検査）

痰の中に細菌やがん細胞が含まれているかどうかを調べる検査です。異型細胞などがんを疑う所見が認められた場合は精密検査となります。

◇ 骨密度検査（オプション検査）

カルシウムやマグネシウムなどのミネラルが、骨にどれくらい含まれているかの指標となります。当センターでは手首から肘までの骨から骨密度を算出する装置を使用しています。検査時間が非常に短く、簡便に行うことができます。平均骨密度とはパーセントで表示しています。若年成人との比較により、骨粗鬆症のリスクを知ることができます。この数値が80%未満の方は骨量減少が考えられます。